

報告事項 コ

平成23年度第1回教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議現地視察の概要について

平成23年度第1回教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議現地視察の概要について、別紙のとおり報告します。

平成23年7月19日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

# 平成23年度第1回教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議 現地視察の概要について

家庭・地域教育課

## 1 現地視察の概要

今年度、教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議では、「地域の教育力の向上」をテーマとして、学校と地域との連携・協働による取り組みの参考とするため、学校支援ボランティア事業の先進的な取り組みを行っている学校の視察を行った。

また、分科会委員以外に県教育委員に参加いただくとともに、今年度6月補正で事業化した「地域で育む学校支援ボランティア事業」の参考としていただくため、市町村教育委員会にも参加いただいた。

## 2 岸本小学校

(1) 日 時 平成23年6月30日(木) 午前11時30分～午後3時

(2) 参加者 分科会委員6名、教育委員3名、市町村6名、県7名  
伯耆町教育委員会教育長ほか事務局職員  
岸本小学校校長ほか学校職員  
伯耆町内各学校コーディネーター及びボランティア

### (3) 視察の内容

#### ・事業の概要説明

学校支援ボランティア事業の取り組みについて

#### ・家庭科裁縫指導補助

5年生の家庭科の裁縫の授業を視察。ボランティア4名の方が指導の補助をされており、縫い方や留め方等児童一人ひとりにきめ細かい指導をされていた。



#### ・暗唱ボランティア

1～3年の児童の暗唱を聞く活動を視察。学年ごとに決められた詩を昼休憩の時間にボランティアの方に一生懸命発表。ボランティアの方も子どもたちに一言コメントを加えて話しかけられていた。



#### ・「暗唱の日」反省会

暗唱終了後のボランティア、コーディネーター、学校の担当者の意見交換を視察。子どもたちとの接し方や子どもたちの様子について情報交換していた。

#### ・意見交換

#### (4) 参加者の主な意見

- ・子どもを地域で育てるという考えを実践しておられる姿を見て感激した。
- ・ボランティアの方々がとても生き生きされていて、子どもが恩恵を受けるだけでなく、お互いがプラスになっていて、まさにこの事業が達成されていると感心した。
- ・ボランティアのレベルの高さに驚かされた。暗唱では子どもに一言ずつコメントを付け加えられていてとても良い取り組みであった。

### 3 西伯小学校

(1) 日 時 平成23年7月5日(火) 午後1時50分～午後3時40分

(2) 参加者 分科会委員5名、市町村8名、県7名  
南部町教育委員会事務局総務・学校教育課長ほか事務局職員  
西伯小学校校長ほか学校職員  
コミュニティースクール運営協議会会長及びコーディネーター

#### (3) 視察の内容

- ・事業の概要説明及び意見交換  
学校支援ボランティア事業の取り組みについて

#### (4) 参加者の主な意見

- ・地域と学校と一緒に子ども将来像を考えたこと、コーディネーターと学校がより良い関係づくりができていて、地域振興協議会など地域の団体がバックアップしていること等、大変すばらしい取り組みと感じた。
- ・地域と密着して取り組んできたが、学校が統合され広域化したため学校と地域との繋がりが薄れてきていると感じるので、こうした取り組みが必要である。
- ・我が町では、学校独自に各ボランティアが活動しているが、組織化している西伯小学校の取り組みを聞いて、今後の取り組みのイメージがわいた。
- ・学校の敷居が高く、ボランティアに入るきっかけがつかめないとよく言われる。コーディネーターやボランティアが活動しやすい対策が必要である。



### 4 今後の予定

10月頃に2回目の分科会を開催し、委員の意見を来年度予算に反映させるとともに、学校支援ボランティア事業を全県に広げ、地域の教育力を高める方策を探る。